

2009年6月

財団法人ハワイ日本人学校

会長 本江 滋夫

Dear Friends of The Rainbow Gakuen :

拝啓、向暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素より本校の運営に関し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
1974年に設立されてから今日まで、諸先輩方の惜みない努力と皆様方のお力添えにより、ハワイ日本人学校は、ホノルルコミュニティにおいて深く広くその絆を築いてまいりました。昨年度は、“ワイキキビーチクリーンアップ作戦”“みこしでわっしょい!”“アロハ将棋祭り”などにも参加し、子どもたちと地元コミュニティとの関わりをますます深めております。

さて、財団法人ハワイ日本人学校では、1995年度より、「Friends of The Rainbow Gakuen」という名称の下、毎年募金活動を進めて参りました。おかげさまで、昨年度は皆様のご理解のもと2万ドルを超える浄財を頂戴することができました。今年度は、当校の幼児教育が高い評価を得ていることの反映と思われませんが、特に幼稚部入園者がめだって増加し、現在、幼稚部98名、小学部290名、中学部64名、計452名の子どもたちが元気に通っております。まさに、当学園はハワイ在住子女のための日本語による教育の重要な一翼を担っているわけです。

更には、一昨年より、カフェテリアにて「日本文化鑑賞会」が開催され、太鼓や剣道の実技・琴と尺八の演奏にふれるなど、子どもたちの情操教育・日本文化継承にも力をいれるようになりました。また、小学5年生より社会科を必修科目とし、日本の地理や歴史の理解にも力をいれてきております。

しかしながら、校舎借用料や諸物価の高騰および人材確保難に加え、教材・機材・備品の老朽化による買い替え等が必要になってきております。そのため、今年度も2万ドルのご寄付を目標として募金活動に取り組んでまいります。

関係者一同、当地における本校の役割とその責任の重さを十分に受け止め、無限の可能性を秘めた子どもたちが、“将来ハワイ(米国)と日本との架け橋となる”ための教育に取り組んでいく所存です。

皆様におかれましては、何卒、募金の趣旨をご賢察のうえ、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

敬具